

Asahi-Seiki

第76期 報告書

2024年4月1日 ~ 2025年3月31日

旭精機工業株式会社

証券コード：6111

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第76期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

取締役社長

神谷 真二



Q 事業の全般的状況についてお聞かせください。

当期におけるわが国経済は、ウクライナ及び中東地域をめぐる情勢や金利・為替の変動の影響に加え、アメリカの関税政策をはじめとする政策動向など、一層不透明感が高まる状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社におきましては、小口径銃弾、精密金属加工品の売上は増加しましたがプレス機械等の売上が減少したため、売上高は117億6千8百万円と前期比10.5%の減少となり、利益面につきましては、誠に遺憾ながら、営業損失1億2千1百万円（前期は4千4百万円の営業損失）、経常損失3千5百万円（前期は0百万円の経常利益）となりました。当期純利益につきましては、投資有価証券売却益を特別利益に計上した結果2億8千7百万円と前期比151.4%の増加となりました。

Q 今後の見通しについてお聞かせください。

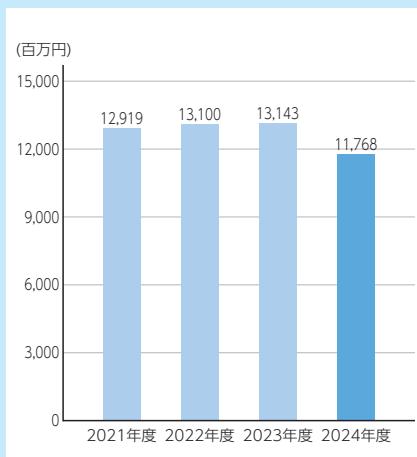
今後のわが国経済は、アメリカの政策動向、物価上昇の継続や金利・為替の変動などの懸念材料が多く、予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような情勢のもと、当社は、経営基盤を強化するとともに、市場環境の変化を踏まえた事業活動の展開、当社総合力の発揮及び新事業の開拓を推進して、持続的な企業価値向上に向け鋭意努力してまいります。

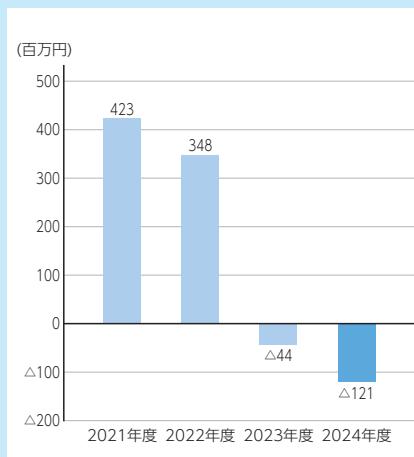
翌期（2025年度）の業績見通しにつきましては、売上高140億円、営業利益8千万円、経常利益1億1千万円、当期純利益8千万円を見込んでおります。

財務ハイライト

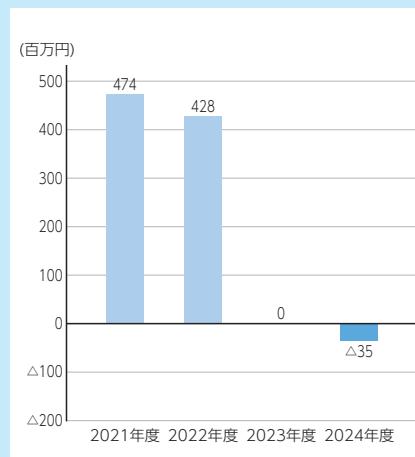
売上高



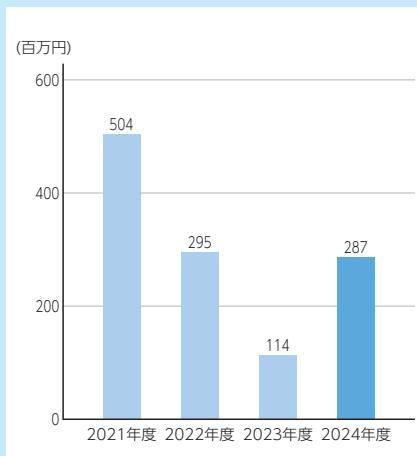
営業利益又は営業損失 (△)



経常利益又は経常損失 (△)



当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率



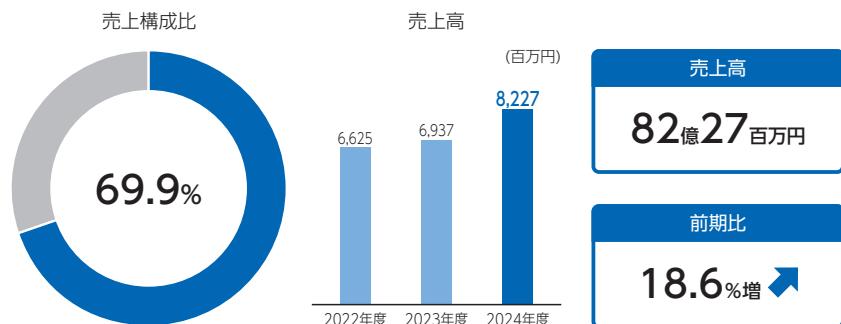
設備投資額・減価償却費



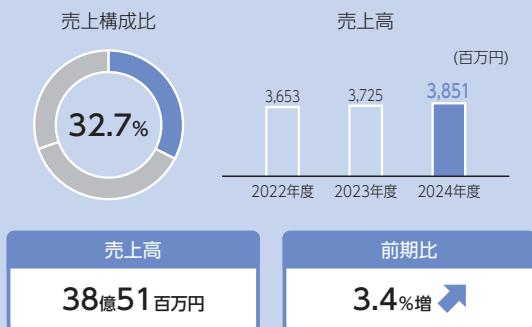
セグメント別概況 *SEGMENT OVERVIEW*

■精密加工事業部

精密加工事業部は、機械事業部で開発されたトランスファープレスを駆使し、金属の塑性加工技術である「深絞り」を長年磨き続け、高度な技術を蓄積してきました。金型の設計から加工・後処理までの一貫生産体制、充実した生産設備・検査機器、IoTを導入した生産現場、国際認証規格を取得した厳格な品質保証体制により、他に類を見ない高精度・高品質での安定供給を実現しております。

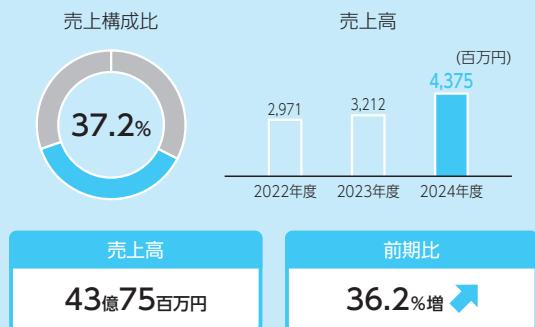


精密金属加工品



当期の売上高は、主に自動車関連部品等が減少したものの水晶振動子関連部品等が増加したことから、38億5千1百万円と前期比3.4%の増加となりました。

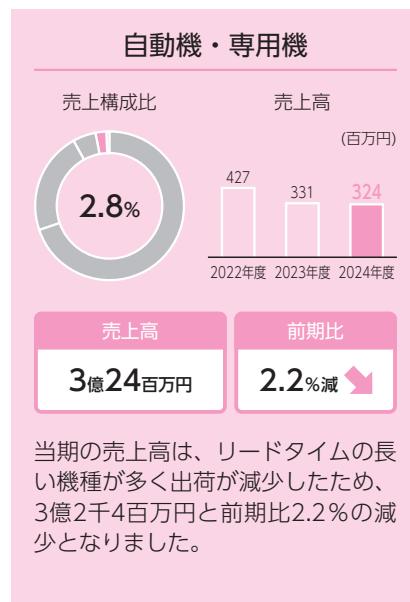
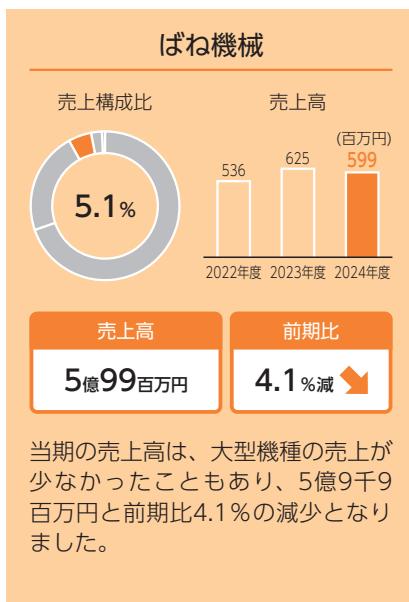
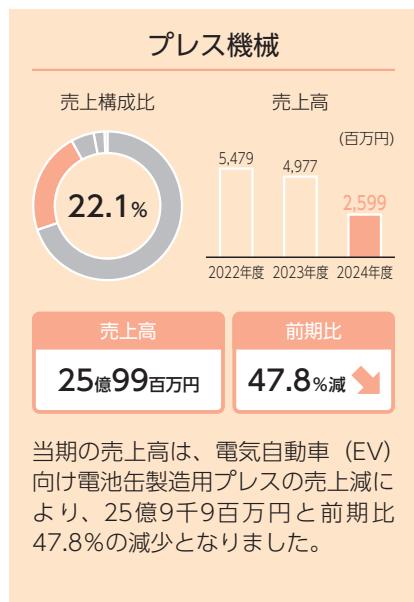
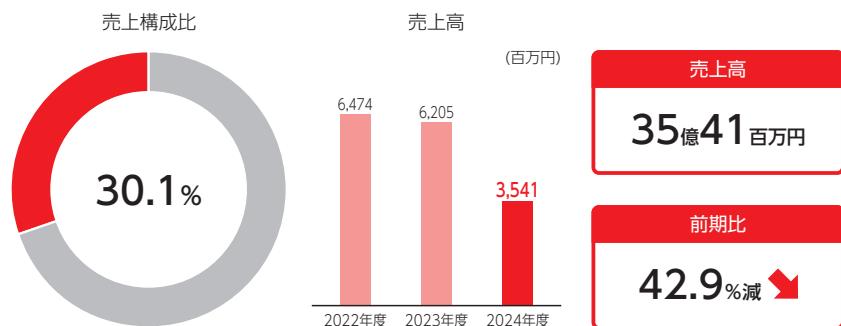
小口径銃弾



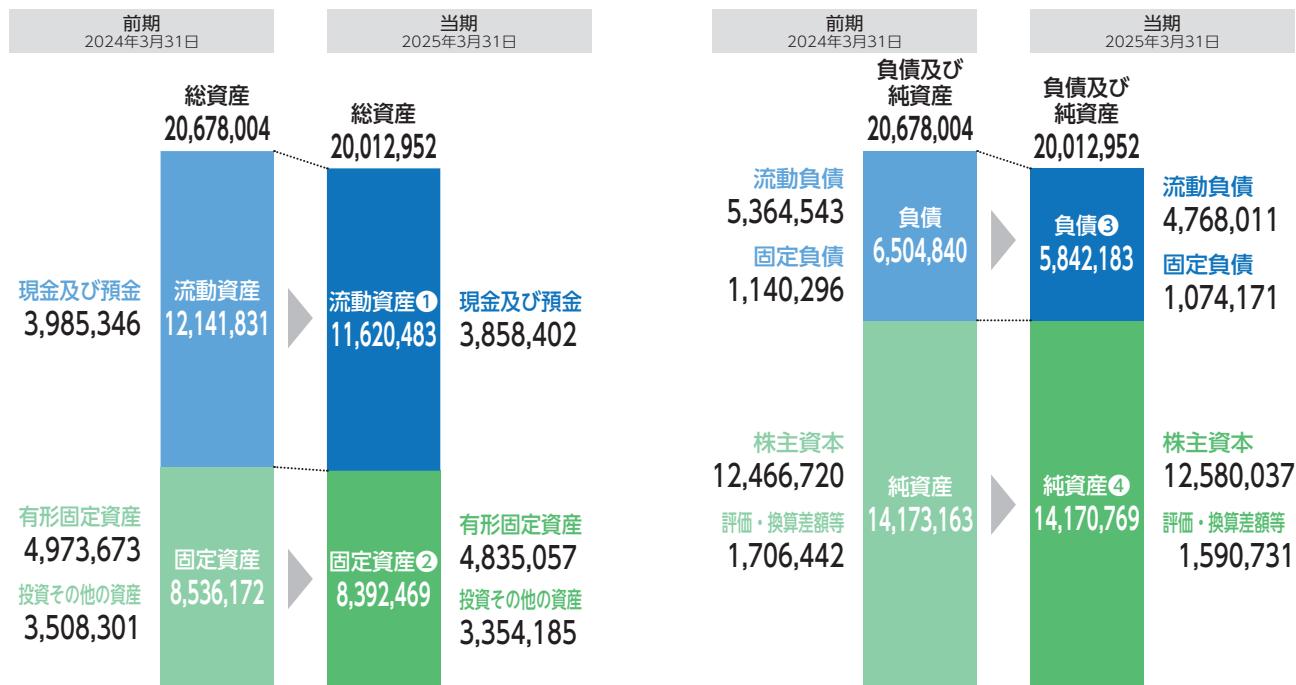
当期の売上高は、政府の予算執行を受け、43億7千5百万円と前期比36.2%の増加となりました。

■機械事業部

機械事業部は、プレス機械、ばね機械と自動機・専用機という異なるジャンルの機械・装置を開発・製造しています。全く異なる技術のシナジー効果を最大限に発揮し、我々にしかできない機械・サービスの提供を通じて、様々なお客様のニーズ・ご要望にお応えしています。



貸借対照表 (単位：千円)



Point

① 流動資産

前期末に比べ5億2千1百万円減少し、116億2千万円となりました。これは主に、仕掛品が7億5百万円増加したものの、電子記録債権が5億3千4百万円、売掛金が4億2千3百万円、受取手形が1億8千5百万円それぞれ減少したためです。

② 固定資産

前期末に比べ1億4千3百万円減少し、83億9千2百万円となりました。これは主に、ソフトウェア仮勘定が1億4千9百万円増加したものの、投資有価証券が2億3千3百万円、機械及び装置が1億2千6百万円それぞれ減少したためです。

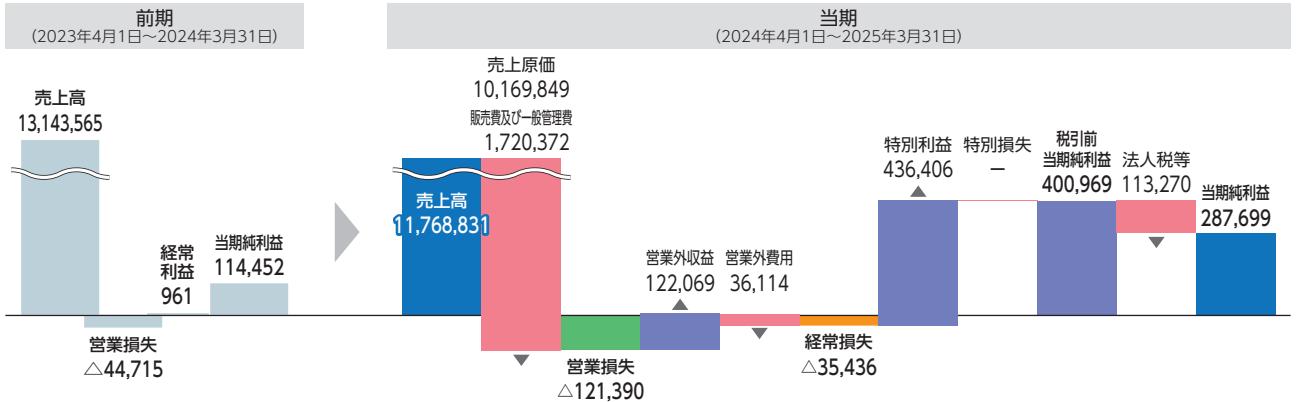
③ 負債

流動負債は前期末に比べ5億9千6百万円減少し、47億6千8百万円となりました。これは主に、電子記録債務が4億3千8百万円減少したためです。また、固定負債は前期末に比べ6千6百万円減少し、10億7千4百万円となりました。これは主に、退職給付引当金が7千7百万円減少したためです。

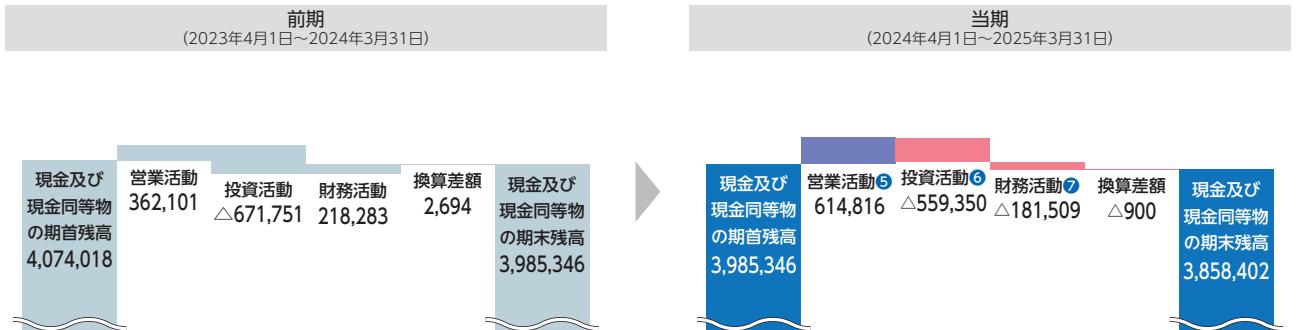
④ 純資産

前期末に比べ2百万円減少し、141億7千万円となりました。これは主に、繰越利益剰余金が1億1千3百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が1億1千5百万円減少したためです。

■ 損益計算書 (単位：千円)



■ キャッシュ・フロー計算書 (単位：千円)



Point

⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

主に、棚卸資産の増加により7億4千9百万円減少したこと及び投資有価証券売却益を4億3千6百万円計上したものの、売上債権の減少により11億4千2百万円増加したこと及び減価償却費を7億4千5百万円計上したことにより、資金は6億1千4百万円増加しました。

⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に、投資有価証券の売却により5億2千7百万円増加したものの、有形固定資産の取得により9億1千1百万円支出したことにより、資金は5億5千9百万円減少しました。

⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に、配当金で1億7千3百万円支出したことにより、資金は1億8千1百万円減少しました。

新型トランスファープレス『iTP-80W』を発売

当期、新型トランスファープレス『iTP-80W』を発売いたしました。

本機は、昨今、大容量化の進むリチウムイオン電池の中でも、直径が46mmサイズの大型の円筒型リチウムイオン電池の電池缶（以下「46缶」といいます。）の製造をターゲットに開発いたしました。

現在、電気自動車のバッテリーや住宅用の蓄電池に多く使用されている直径21mm、高さ70mmサイズ電池缶を使用した円筒型リチウムイオン電池に比べ、46缶の円筒型リチウムイオン電池は高いエネルギー密度と効率性を有しているとして注目が向けられています。

46缶の中では、4680缶と呼ばれる、高さが80mmのものが最も代表的ですが、当社が長年培ってきた深絞り技術により、本機では最長95.5mmの46缶の製造が可能となっております。



▲左：直径21mmの円筒缶
右：直径46mmの円筒缶



▲iTP-80Wとカタログ表紙

iTP-80Wは、46缶の安定した高速成形を可能とするため、高い剛性を有するフレームを採用し各パーツも高強度なものにするとともに、プレス荷重バランスを向上させ、成形に伴う発熱対策も施しております。

46缶を安定して高速成形可能な機種は少なく、iTP-80Wは希少性の高い機種として優位性を発揮し、今後の当社業績の向上に貢献するものと期待しております。

アメリカに海外子会社を設立

2025年4月1日に北米地域における当社プレス機械やばね機械などの機械類を中心とする当社製品の販売と現地アフターサービスの拠点としてアメリカ合衆国イリノイ州に当社設立以来初となる海外子会社を設立いたしました。

本海外子会社の所在地であるイリノイ州はアメリカの中西部に位置し、古くから製造業が盛んな地域です。また、流通・交通網にも優れ、世界有数の経済都市であるシカゴも同州にあり、当社製品の営業拠点として最適な場所と考えております。

本海外子会社を軸に北米地域における当社製品の販売拡大に尽力してまいります。

【海外子会社の概要】

名 称 : Asahi Seiki USA Corp.

所 在 地 : アメリカ合衆国イリノイ州

代 表 者 : 工野 浩義

(旭精機工業株式会社 取締役 常務執行役員)

資 本 金 : US \$ 350,000

株主構成 : 旭精機工業株式会社 100%

設 立 : 2025年4月1日

事業内容 : 各種機械器具並びにその部品の製造修理及び販売等



ホームページのご案内

当社ホームページでは、製品情報やIR情報など、皆さまに当社を知っていただくための各種情報を発信しております。

是非ご覧ください。

旭精機工業

検索

<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>



▲トップページ

株式の状況 *STOCK INFORMATION*

■大株主 (2025年3月31日現在)

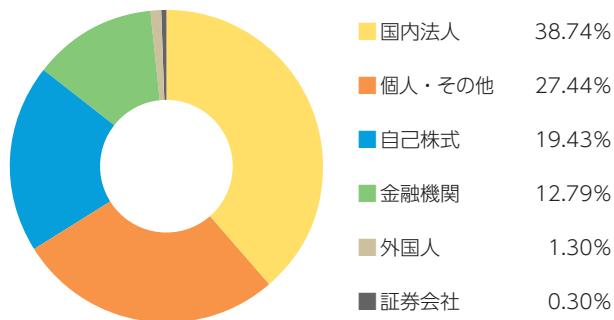
株主名	持株数(株)	持株比率
古河電気工業株式会社	455,800	18.31%
岡谷鋼機株式会社	164,600	6.61%
旭化成株式会社	148,900	5.98%
オークマ株式会社	120,000	4.82%
三谷伸銅株式会社	119,073	4.78%
株式会社三菱UFJ銀行	106,084	4.26%
東京海上日動火災保険株式会社	86,515	3.47%
株式会社みずほ銀行	56,507	2.27%
株式会社名古屋銀行	45,000	1.80%
あさひ持株会	41,235	1.65%

(注) 持株比率は、自己株式(600千株)を控除して計算しております。

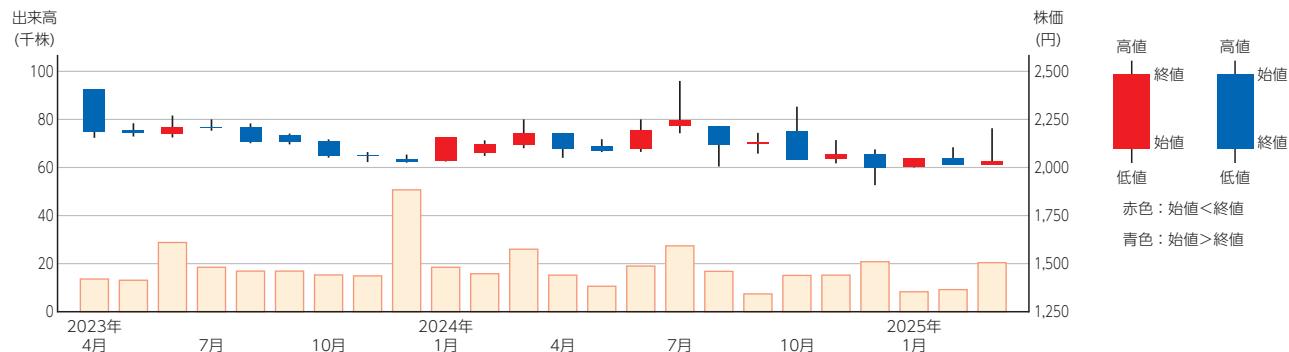
■株式総数、株主数 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	5,824,900株
発行済株式の総数	3,088,739株
株主数	2,574名
1単元の株式数	100株

■所有者別株式分布 (2025年3月31日現在)



■出来高及び株価の推移



会社の概要 *COMPANY OVERVIEW*

■会社概要 (2025年3月31日現在)

商号	旭精機工業株式会社 (ASAHI-SEIKI MANUFACTURING CO.,LTD.)
設立	1953年8月11日
資本金	41億7千5百万円
事業内容	精密金属加工品、小口径銃弾、プレス機械、ばね機械、自動機・専用機等の製造及び販売
従業員数	477名
拠点	
本社・工場	〒488-8655 愛知県尾張旭市旭前町新田洞5050番地の1 TEL (0561) 53-3112(代表)
東京支店	〒113-0034 東京都文京区湯島一丁目6番3号 TEL (03) 5805-6991
大阪営業所	〒564-0063 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号 TEL (06) 6368-6251
ドイツ駐在事務所	Oststrasse 54 D-40211 Düsseldorf, Germany

■役員等 (2025年6月27日現在)

取締役 社長	神谷 真二
取締役 常務執行役員	工野 浩義
取締役 常務執行役員	白石 憲生
取締役 執行役員	松原 幸弘
取締役 執行役員	石村 淳
取締役 執行役員	青木 潤
取締役 執行役員	坂野 彰
社外取締役	荻原 弘之
社外取締役	山脇 宏
執行役員	長山 和美
執行役員	赤松 洋
常勤監査役	金 厚博
社外監査役	馬場 紀彰
社外監査役	中尾 誠志

株主優待のご案内

対象となる株主さま

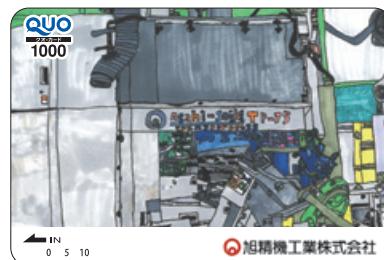
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された100株（1単元）以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。

優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上	QUOカード 1,000円分

謹呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。



■株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金受領株主確定日 3月31日
- 公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)
<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
- 株式上場市場 名古屋証券取引所(メイン市場)
- 証券コード 6111

■株式に関する手続きについて

■各種のお手続き、ご照会等のお問い合わせ先は以下のとおりです。

お手続き、ご照会等の内容	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式
住所・氏名の変更	お取引の証券会社	三菱UFJ信託銀行 証券代行部
単元未満株式の買取・買増請求		
配当金の受領方法の指定・変更		
特別口座から証券口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部	
支払期間経過後の配当金に関するご照会		
郵送物等の発送と返戻に関するご照会		
その他のお問い合わせ		

■三菱UFJ信託銀行 証券代行部の連絡先等は以下のとおりです。

- 郵便物の送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
- 電話でのお問い合わせ先 0120-232-711(通話料無料)
- 手続き書類のご請求方法 インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

旭精機工業株式会社

旭精機工業

検索 

<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

